

SNSを活用した新たな保険加入の仕組みを構築 ～「らくらくコミュニティ」における介護保険販売～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬伸一、以下「当社」)は、富士通コネクテッドテクノロジー株式会社(代表取締役社長 高田 克美、以下「FCNT」)と連携し、要介護状態や認知症になった場合でも安心して暮らすことができる社会の実現に貢献するため、FCNT が提供しているシニア向けコミュニティサービス「らくらくコミュニティ」において、長期化する介護に対応した補償と、認知症高齢者およびそのご家族等に対する支援サービスを備えた「認知症アシスト付き年金払介護補償」を8月1日より販売開始します。

1. 背景

政府統計(※)によると、要支援・要介護者数は2018年3月末時点で65歳以上人口の5人に1人(約641万人)に達しています。また、2012年時点で462万人と推計されていた認知症高齢者数は、2025年には700万人規模にまで増加するといわれています。

このような社会的な背景から、従来から様々な民間介護保険が販売されておりますが、保険料の安い若年時は介護は先のことと感じられるため、民間介護保険に対するニーズを感じにくいと言われております。また、ニーズが高まる高齢期においては加入時の保険料が高くなるため、結果的に民間介護保険の未加入者はまだまだ多い現状にあります。

一方で、介護に直面した際、**毎月の自己負担額は平均7.8万円、介護期間は全体の約60%が3年以上・平均54.5ヶ月**といわれており、ご本人またはご家族が介護に直面した際の長期にわたる金銭的な備えについての必要性が高まっています。

(※) 厚生労働省:「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の概要」資料より

2. 取組概要

当社は、このような背景をふまえ、高齢者にとっても“加入しやすい保険料で”、要介護状態となった場合に継続的に必要となる費用への備えと、認知症高齢者およびそのご家族の不安を解消するサービスを提供する「認知症アシスト付き 年金払介護補償」を開発^(※1)いたしました。

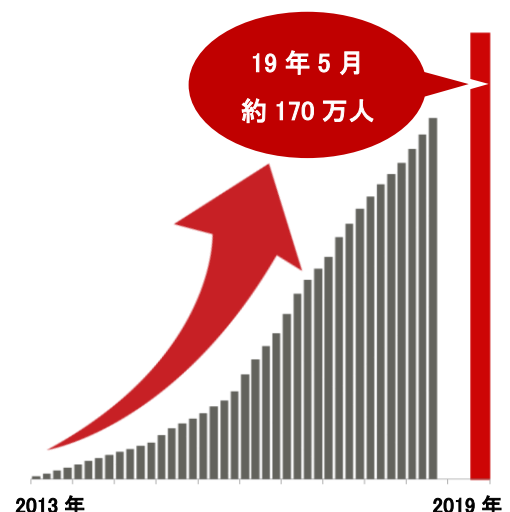
(※1)2019年1月23日当社リリース【「認知症アシスト付き年金払い介護補償」の発売】をご参照ください。

本商品をFCNTが運営するシニア向けコミュニティサービス「らくらくコミュニティ」(会員数約170万人:2019年5月時点)内で介護に関する情報と共にご提供し、介護に直面したご本人やそのご家族を側面支援することで、我が国が抱える介護に対する課題解決を目指します。

本取組みは、「らくらくコミュニティ」経由のインターネット完結型の手続きとすることで、口コミなどで介護関連の情報が拡散するというSNSの特性を活かした新たな保険募集の取組みとなります。また現在、介護補償は主に企業の従業員様向けに販売しておりますが、この仕組みは従業員等以外の方にも加入いただけます。

今後も、同様の取組みを更に拡大させ、年金払い介護補償をご加入いただきやすい環境を整備してまいります。

【「らくらくコミュニティ」会員数推移】



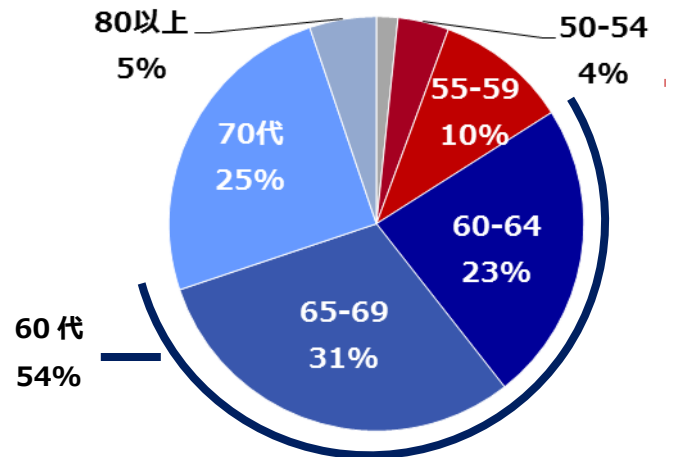
3. 補償内容

要介護状態(公的介護保険制度に基づく要介護3以上に該当している)が継続する限り、最大10年にわたって、毎年定額の保険金をお受け取りいただけます。保険金額は50万円/年または100万円/年で設定が可能で、50万円/年の保険金額を10年間お受け取りいただくご契約の場合、保険料は64歳男性で月々340円、64歳女性で月々310円となります。

【「らくらくコミュニティ」認知症特集コーナー】



【「らくらくコミュニティ」会員年齢構成比】



以上